

芦屋市議会議員

大原ゆうき

Blog

ブログ、日々更新中!
<https://oohara-yuuki.blog.jp/>

- 昭和59年2月8日生まれ(40歳)
- 伊勢幼稚園、シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。
- 卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- 現在3期目。

市政報告会のお知らせ

2024.2.2 14:00~ @西蔵集会所

内容 → 12月定例会の報告、その他意見交換

2024.2.16 14:00~ @竹園集会所

※いずれの回も申込み不要です

01

広域処理を行うなら、ごみ処理の発想転換を伴う
明確なビジョンを示すべきではないか？

令和6年12月定例会一般質問「ごみ処理に関するビジョンについて」より



詳しくはこちら



課題、現状について

- 焼却施設の広域連携の目的として、現状で議論されているのはコスト削減の部分を中心となっている。
- 温室効果ガスを発生させないためには、焼却炉内を800~1000℃の温度に保つ必要がある。
 - 燃やすごみを極端に減量すると炉内の温度を保てない。

確認事項

広域連携の効果について、これを契機に芦屋市のごみ処理を変えるとのビジョンを示し、市民と一丸となって全庁的に取り組む姿勢を見せる必要があるのではないか。

当局答弁

地球温暖化は人類共通の喫緊の課題。ごみの減量と再資源化の推進が重要だと考えている。神戸市との可燃ごみ広域処理はコストの削減だけでなく、地球環境への貢献と、人口減少などの社会変化に対応する未来のあるべきごみ処理施策へのアプローチとして進め、発信している。合わせて、現在計画中的の新資源化施設では3R(Reduce, Reuse, Recycle)を更に強化しごみ処理分野における温室効果ガスの実質排出量ゼロを目指す。

思うところ

- 現状のように「ごみ処理はこれまでと変わらない」というメッセージを推すと、「広域化しなくても良いのでは?」と受け止められても仕方がない。
- 具体的に燃やすごみの減量を促進するためには、「燃やすごみゼロを目指す」など、市長からの強いメッセージのもと、市内が一体となって取り組む必要があると考える。本会議で「ビジョンを示す」と明言がなかったのは残念。

02

延長保育料の利用者間不均衡は是正すべきではないか？

令和6年12月定例会一般質問「延長保育利用時の保育料について」より



詳しくはこちら



課題、現状について

- 保育標準時間で利用している人が延長保育を利用した場合、2000円の基本使用料に利用回数に応じた料金(200円)を合算した金額が徴収される。
- 月に1日だけ利用した場合は2200円。月20日利用した場合は6000円となる。1日あたりの延長保育料で見ると、1日利用の場合は1回あたり2200円。20日利用の場合は1回あたり300円となり、1900円の利用料格差が生じる。

確認事項

日額の制度を取り入れるなど、保護者負担の不均衡を改善する余地はあるのか。

当局答弁

本市の延長保育料は基本料金と利用回数に応じた料金を合算する料金設定としている。延長保育の利用登録者数に応じて保育士の配置を行わざるを得ないため、必要な料金設定だと考えている。延長保育料については、制度の持続可能性、利用者の利便性、安全安心な保育の提供等の観点を踏まえ、研究していく。

思うところ

- 「月の利用回数によって、1回あたりの利用料に差がある状況は課題と認識していないのか？」と質したところ、課題だとは認識しているとの答弁。市との課題共有ができたことは最低限良かった。
- 現状の延長保育は保護者にとって利便性が高いとは言えない。私立園の代表者と意見交換する場において問題提起、議論してくれることを望む。

03

市議会議員の期末手当（ボーナス）引き上げに待った！



詳しくはこちら



- 市議会議員の期末手当（ボーナス）を0.1か月分増額する議案が賛成少数（9対10）で否決された。
- 官民比較にて国家公務員の適正給与を調べる機関である「人事院」による勧告に準ずるという慣例によるもの。
- 市長、副市長を始めとする常勤の特別職は引き上げを行わない（人事院勧告に準拠しない）判断をしている。
- 物価高騰などで、厳しい暮らしをしている市民が大勢いる中、市議会議員が率先して引き上げる訳にはいかないため、反対した（賛成：政風会、公明党、たかおか議員、中村議員 反対：至誠会、共産党、維新、山口議員）
- 今回の否決によって、151万4280円の予算節約効果が生まれている。予算総額からすると軽微だが、これまで毎年のように引き上げられてきたボーナス支給額に待ったをかけたことについては大きな意義がある。